

NPO 法人東京 YWCA 福祉会 通信

11号

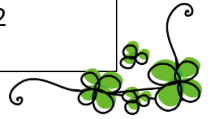
2021 年 12 月

特定非営利活動法人東京 YWCA 福祉会

<事務局>〒174-0043 板橋区坂下 1-34-25 公益財団法人東京 YWCA

板橋センター内 TEL03-5914-1854 FAX03-5914-1852

URL <https://ywca-fukushikai.tokyo/>



Y's コート ゆい 就労継続支援 B 型（働く場）

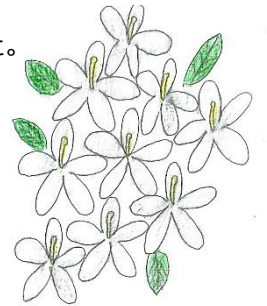
開設 5 周年を迎えました

発達障がい、知的障がいのある人々の「働く場」Y's コート ゆいは、2021 年 9 月 1 日に開設 5 周年を迎えました。現在 14 名が在籍し、カフェ JOY、受注作業、自主生産品作りと販売などの仕事をしています。

Y's コート ゆい開設時から利用している方のご家族に 5 年間を振り返って頂きました。

Y's コート ゆいにお世話になって、早いもので 5 年になります。

それまでは、区内の福祉園に 2 年、港区に 2 年、在宅 2 年、ふたたび港区に 2 年半通わせて頂いている時、Y's コート ゆいの開所されることをその先生に教えて頂き、一緒に面接に伺いました。調理が得意というだけで採用して下さるのだろうか不安でいっぱいでした。



菜莉花

カフェ JOY のオープンに多くのお客様がいらっしゃる中、スタッフの皆さんに囲まれ厨房で作業させて頂きました。初めの頃は、1 週間続けられた！2 週間続けられた！今日で 1 か月！と一日一日続けさせて頂くことに感動しながら通いました。

5 年間を振り返り娘は、多くを学び成長させて頂きました。厨房では、シフォンケーキ、パウンドケーキ、ゼリー等を教えて頂いてお菓子作りが楽しくなり、自宅でも林檎のタルトタタンや杏仁豆腐、夏みかんの皮を容器にしたゼリーなどレパートリーが広がりました。

また 2 年前からは牛乳パックを利用した天ぷら油処理のすいとるゾウやアクセサリー作りもさせて頂いています。調理のほかに、色々な作業ができるようになりました。

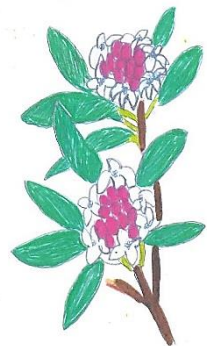
会話も発達し、表現の難しい質問に対し混乱せず分からないことは分からないと答え、作業も難しい時は、今は無理ですと気持ちを表現できるようになりました。

課題の多い娘です。失敗もあり、もう通わせて頂くことは難しいかもしれないということも何度かありました。その度に、いつも暖かく迎えて下さっている職員の方々の熱心なご指導を途切れさせないで、娘にこの支援をつなげてあげたいと願いました。

娘と一緒に仲良く学ばせて頂いています利用者の皆さん、いつもありがとうございます。

最後になりますが、Y's コート ゆいで学びの場所を与えて下さいました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

(原井三智子)



沈丁花

Aya



イラスト：原井彩那

Y's コート ゆい 近況

今年もコロナ禍で世の中に明るい話題が少ない中、ゆいも開所 5 周年を迎え、同時にカフェ JOY も周年行事の感謝ウィークを 9/13（月）～9/17（金）まで行いました。

期間中、お弁当をお買い上げいただいたお客様にはもちろん抽選券を引いていただき、感謝のお品を進呈させていただきました。

空くじ無しの賞品には、お弁当やデザート・飲み物の引き換え、スタンプカードへの押印、あるいは、自主生産品のブローチやすいとるゾウ等、坂下ゆい商店や JOY の関連品とさせていただきますととても好評でした。

また、緊急事態宣言が明けた 10/4（月）～10/8（金）にオータムバザールをつくい館前の駐車スペースにて行いました。利用者の皆さんも七夕バザール以来の販売会で、楽しそうに参加されていました。

今年度からの取り組みとして 5 月より JOY の定休日に調理実習を行っています。これまでは、希望者数名が交代で JOY の厨房にて行っていましたが、10 月は 2 階厨房と作業室で“ちらし寿司”を全員が協力して作りました。その際の炊飯は木下財団の助成金で購入した炊飯器を初めて使用しました。利用者さん皆、和気あいあい調理や食事を楽しみました。（職業指導員 野辺浩）



調理実習の様子

カフェ JOY
お弁当・プチデザート販売
月～金（祝日お休み）
11 時 30 分～13 時 30 分
（完売になり次第終了）
※店内イートインスペース有

坂下ゆい商店
手作りアクセサリ
（ブローチ・ブレスレット）
販売中
「すいとるゾウ」・アクリルたわし
好評販売中

軽作業ご依頼ください
封入・シール貼り・
DM 等挟み込み、分別 etc.
承ります。

これらの収益が「Y's コート ゆい」利用者の工賃(お給料)になります。応援をお願いします！

<助成金を頂きました>

社会福祉法人木下財団より、Y's コート ゆいの備品購入のために助成金を頂きました。
カフェ JOY のお弁当の販売数を増やすために、炊飯器を購入しました。

<「坂下ゆい商店」の商品を購入して応援してください>

手作りアクセサリ(ブローチ、ブレスレット)、アクリルたわし、吸い取るゾウを販売しています。

◆以下のところで購入できます◆

カフェ JOY	店内でご自由にご覧いただけます。	
スマイルマーケット	板橋区役所 1 階ロビーにて 毎月第 4 水曜日 11:30～14:00 に出店しています	
都営三田線「高島平駅」	「スマイルマーケット高島平駅ナカ店」（西口改札外）にて 常設販売しています。（開店時間：平日 11:00～19:00）	
KURUMIRU（くるみる）	東京都庁店（パスポートセンターそば）	常設販売です

Y's ホーム ハイホー 共同生活援助（グループホーム）

2021 年 2 月 1 日に開設 5 周年を迎えた Y's ホーム ハイホーは、身体障がい、発達障がい、知的障がいのある 20～40 歳代の 7 人の男性が生活しています。

「今」

ハイホーは、ボクの居場所である。プライベート空間であるか？と聞かれたら、そう、と言い切れないところはあけれど、ボクの居場所であることは、間違いない。両親も安心して思う。

ボクはバイクに乗れない。車にも、運転手としては、乗れない。だから両親を駅まで車で送る等はボクにはできない。だから、ボクのできることで、安心感を与える。それがハイホーだと思う。

5 年以上が経過して、変化もあった。少し予想とは違う形ではあった。予想と違うことなんてよくある。むしろ予想通りのほうが少ない、と言って良いと思う。ただ、ボクのやりたいことは明確になってきた。

ボクは美容師という仕事に、憧れている。キムタク出演の「ビューティフルライフ」を見て、憧れたのが事実なのだが。ある美容師との出会いがきっかけである。車椅子のボクは、なにかと支援者と居ることが当たり前になっている。そんな中、美容師さんはボクに 1 人で来て良い、と言ってくれた。34 歳の男性からすれば、まず、あたり前のことでもある。ただ、ボクには、身体介助がある。それも普通にこなしてくれている。この美容師の社会貢献は、すごいと思う。

だからボクは、美容師を応援している。小説を書いてみようと思う。それこそ見た人に何かを感じてもらえるかもしれない。はたしてボクは、ハイホー初の小説家となり、小説ドリームをつかめるのか。つかんだ先は。

ボクの人生は、まだまだ続く。笑。

（藤野 洋平）



デリバリーを利用して
入居者みんなで
ケンタッキーパーティを
楽しみました！

何と早いことか開所より 5 年も後半です。

2015 年 12 月、スタッフ 6 名の初顔合わせ、2016 年 1 月より開所の準備で必要な備品や調理器具の購入、支援記録の用意、介助技術の研修、ホーム内の改修も済み、1 月 9 日 7 名の入居者とそのご家族とスタッフの顔合わせ、その後体験入居も行われました。

様々な個性を持つ 7 人の若者達がお互い助け合い楽しい共同生活を送って欲しいという願いが込められている Y's ホーム ハイホーが 2 月 1 日開所船出をしました。順調にいった中、コロナ騒ぎが起こり波にもまれ船酔いも心配されましたが、何とか皆で舵とりをし日々暮らせる状態が続いています。

多くの方々のご尽力と強い願い通り個々の人格がいかされ助け合い楽しい生活が送られています。私の課題は食です。バランスの良い食事が入居者たちが生活習慣病にならないよう努力していきたいと思っています。今では館内の管理体制も整い常に快適な住空間になっています。

今後とも皆さまよろしく見守ってくださいませ。

（世話人 常味伸子）

募金活動のお礼

多くの方から温かいご支援を頂きました。心より感謝申し上げますとともに、ご報告申し上げます。

2021年8月1日～2021年11月30日の期間にご寄付頂いた皆様（敬称略・五十音順）

個人	企業・団体・グループ	物品寄付
池上 三喜子 楯石 てる子 渡辺 美智子 石井 須美子 新田 和子 匿名 1名 蛭原 まゆみ 宮本 久子 楯石 和男 森 久子	フレンチ・バルーン	伊藤 充代 嶋 結子 岩間 迪子 外崎 弘子 大久保 智子 中村 紀子 後藤 暁子

寄付金合計： 298,000 円

ご支援をお願いいたします

○NPO 法人東京YWCA福祉会の**会員になる**⇒屋台骨である、組織を支えることにつながります。

<会員の種別> ☐正会員(個人) 年会費 3,000 円

☐正会員(団体) 年会費 5,000 円

☐賛助会員(個人・団体) 年会費 1 口 2,000 円

<入会方法> 入会申込書の提出と、年会費のお支払が必要となります。

事務局までお問合せください（TEL 03-5914-1854）

※正会員は、総会における議決権があります。
※会員は、年度制です（4/1～3/31）。

○5周年記念クリスマス募金のお願い

皆様の温かいお支えにより、Y's コート ゆいと Y's ホーム ハイホーは5周年を迎えることができました。今後も長く安定して一人ひとりを尊重した支援を続けていくために皆様からのご支援をお願いいたします。

<方法> 【現金】 事務局(東京YWCA板橋センター内)にてお受けします。

【銀行振り込み】 ・東京信用金庫 **志村支店（普）4062567**

・三菱UFJ銀行 **志村支店（普）0194008**

・ゆうちょ銀行 **10010 31108311**

口座名義：「特定非営利活動法人東京YWCA福祉会」

トクヒ) トウキョウ ワイダブリューシーエー フクシカイ

*お振込みの場合、払込時の控えをもって領収証に代えさせていただきます。

寄付金控除制度の活用をお考えの方は、**お振込の前に**事務局までお問い合わせください。

お振込みの前に、
寄付申込書をお送り頂くか、
ご一報くださいますよう
お願い申し上げます。

コラム『一粒の麦』

コロナ禍の時間。これまでの「当たり前」が「当たり前」でなくなり、人と触れ合うこと、命の息吹を感じることから離れてゆく時間を過ごしました。改めて、本当に大切なことは何かに気づかせられる時もありました。

大切なことを守るために懸命に働いた人々。感謝が絶えません。エッセンシャルワーカーという名称が流行しましたが、ハイホーやゆいの働きもその一つ。「当たり前」の変更や変化が苦手、マスクや消毒をすることを理解する迄が苦手、環境の変化に敏感故の意味の解らない不安、当たり前に出だし、仕事に出ていたハイホーのメンバーも、変化した生活を組み立てる大変さ・・・。そのひとつひとつに対処してきた働き人の労苦がこれからのメンバーの生活に、生きる力に、ハイホーの実力、実りとなってゆくことを願います。

新しく監事を仰せつかりました。ゆいやJOYの日常を知るためにも、応援のためにも、足を運ぶ機会を増やしたいと思い、今年は、カフェJOYのオープン5周年記念週間と久しぶりに開催できたクリスマスバザールに伺いました。JOYでは、可愛い5周年記念と書かれた旗、パッチワークの旗が温かくなびいており、店員さんと明るい音楽、お店全体が温かく迎えてくれました。飛沫防止のビニールも障壁とならない雰囲気がありました。バザールでは、お得意のブローチ、「吸い取るゾウ」が好評の友人と出かけ購入。「いらっしやいませ」「ありがとうございます」は、大切なコミュニケーションの始まりの訓練でもあり、地域の方々と、会員の方々と、繋がり続ける始まりのことば。たくさんの方々が続きますように。

蛭原 まゆみ（東京YWCA福祉会 監事）